

じゃばら果皮粉末

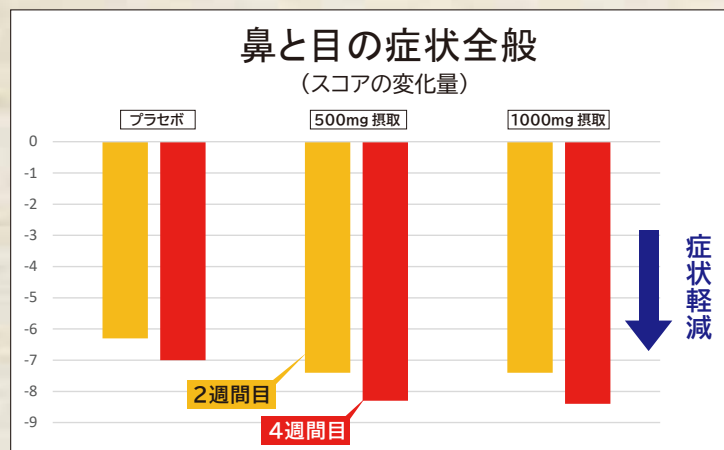
(特許第 5,323,127 号)

臨床試験データ



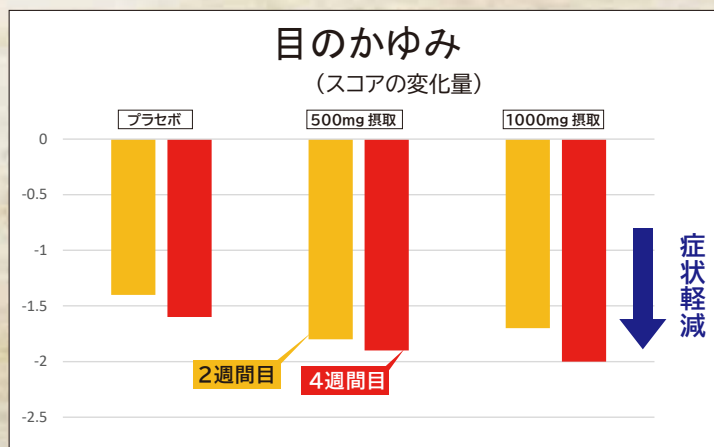
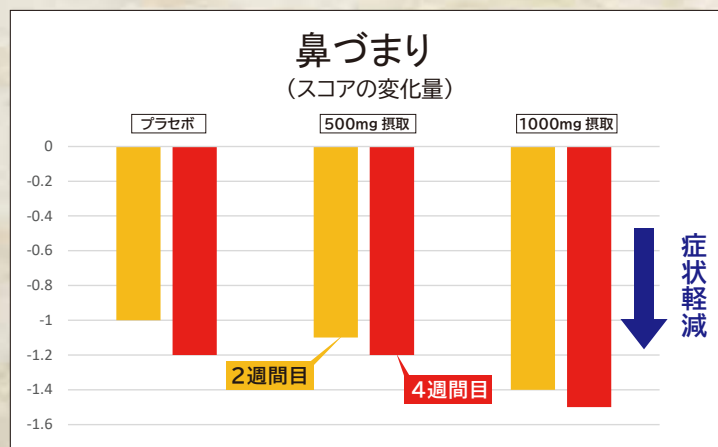
試験方法

日常生活で目や鼻の不快感（くしゃみ、鼻水、鼻づまり、目のかゆみなど）の自覚症状のある 20～65 歳の日本人男女 90 名の参加者に、株式会社 Jabara Laboratory のじゃばら果皮粉末（特許第 5,323,127 号）を 4 週間摂取してもらいました。30 名はじゃばら果皮粉末を 1000mg/ 日、30 名は 500mg/ 日、30 名は目や鼻の健康に影響を与えないマルトデキストリン（プラセボ）を毎朝朝食前に摂取してもらい、試験前、2 週間後、4 週間後に、鼻と目の症状（鼻水、くしゃみ、鼻づまり、鼻のかゆみ、目のかゆみ、涙目）を日本結膜炎 QOL 調査票（JRQOLQ）に基づいたスコアで評価を行いました。



試験結果

じゃばら果皮粉末（特許第 5,323,127 号）の 2 週間および 4 週間の摂取により、プラセボ群と比較して、500mg 摂取群、1000mg 摂取群ともに鼻と目の症状が軽減しました。また、1000mg 摂取群の方がより症状が軽減することが確認されました。



出展：免疫療法の動向（2021 年）第 5 巻第 2 号 doi:10.24294/ti.v5.i2.1390

日本じゃばら普及協会

Japan Citrus jabara Promotion Association

日本じゃばら普及協会
公式サイトはこちら

